

# 百里基地対策特別委員会 会議録

令和3年12月6日(月)本会議終了後  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 百里基地対策特別委員会

令和3年12月6日(月) 本会議終了後  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 執行部あいさつ

4 協議事項

① 陸上自衛隊 V-22 オスプレイの訓練に関して -資料1

【訓練に関する協定締結に向けた動き】

② 米軍再編に係る航空機訓練移転(百里基地)の実施について -資料2

③ その他

5 閉 会

出席委員（11名）

1番	戸田見良君	2番	香取憲一君
7番	植木弘子君	8番	石井旭君（委員長）
9番	幡谷好文君（副委員長）	11番	長島幸男君
12番	岩本好夫君	14番	小川賢治君
16番	田村昌男君	17番	笹目雄一君（議長）
18番	市村文男君		

欠席委員（なし）

---

付託案件説明のため出席した者

市長	島田穰一君	副市長	岡野英孝君
都市建設部長	小島謙一君	基地対策課長	菅具隆君
基地対策係長	真家広幸君		

---

議会事務局職員出席者

書記 深作治

午後 15時00分 開会

○副委員長（幡谷好文君） 皆さまお疲れさまです。ただいまから、百里基地対策特別委員会を開催いたします。

初めに、委員長からご挨拶いただきます。石井委員長、お願いいたします。



### ◎開議の宣告

○委員長（石井 旭君） 本会議に引き続きまして、ご苦勞さまでございます。

本日は、北関東防衛局との協定書締結に向けて、現在の状況を事務局より説明をいただき、今後の対策を皆さんと検討していただきたいと思ひます。

また、木更津駐屯地との訓練日程の申し入れなどもご検討いただきたいと思ひます。

さらには、ニュース等でご存じと思ひますが、三沢基地での米軍機による燃料タンク投下があり、要請等について対応説明を、事務局より詳しく伺いたいと思ひます。

それから、わたしのほうからのご報告としましては、先月11月24日に木更津駐屯地のほうにオスプレイの視察をしてまいりました。笹目議長とわたしと近隣市町村、県、周辺整備協議会の皆さまと行ってまいりました。北関東防衛局より大勢で丁寧な説明をしていただいたところでございますが、残念ながら島田市長には同席していただけませんでした。

その説明の中で、オスプレイのパイロット、整備士は、語学も堪能な方々が選ばれて、女性整備士も2名ほどおられました。

また、計器はデジタル化されており最新のものであります。エンジンが2機搭載されており、片方が故障してももう片方で飛行が出来るのであるという説明も細かくありまして、少しではあります、安心したところでございます。当日木更津に到着したときに、オスプレイが飛んでおりました。見る事が出来ましたが、すぐに海のほうに飛び立つので、騒音等は感じられませんでした。全く百里基地とは条件が違うなと感じたところであります。

それでは、これらにつきまして、慎重審議をいただきますようよろしくお願ひしまして、挨拶とさせていただきます。

○副委員長（幡谷好文君） ありがとうございます。

続きまして、執行部より島田市長ご挨拶をお願いします。

○市長（島田穰一君） それでは、皆さん本会議のあとということで、百里基地対策特別委員会ここに開催されまことにご苦勞さまでございます。

この件に関しましては、ただいま委員長のほうから挨拶があったとおりでございまして、過日オスプレイが百里基地に飛来したということでございましたが、この対応の悪さということご指摘いただいて、謝罪もし、さらにはその後北関東防衛局のほうに出向いて、局長と調整をし、協定を結べる方向で話し合いをし、互いに調整に向けて協議をいま進めているところでございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、大変申し訳ございません。木更津駐屯地の視察でございましたけれども、調整が出来ずということで、近隣の自治体の代表者の皆さまが大勢参加したということでございました。大変申し訳なくお詫びを申し上げるところでございまして。

また、この議題にもあるように、米軍再編で実施をされるという予告があったということで12月13日から17日まで、担当のほうから説明させますが、このようなことも実施をされるというお話でございまして、周辺の皆さんにも十分ご理解をいただきながら対応をしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、会議の中でいろいろと皆さま方にご指摘を受け我々も対応しますので、忌憚のないご意見を出していただきながら、会議を進めていただければ大変有り難いと思ふところでございまして。よろしくお願ひいたします。

○副委員長（幡谷好文君） ありがとうございます。

それでは、協議に入ります。

協議の進行については、石井委員長お願ひします。

○委員長（石井 旭君） それでは、早速議事に入ります。

本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションの中に保存されています。

更新終了後、市議会、特別委員会、百里基地、令和3年12月6日をお開きください。

次に、同期を利用される方は、会議マークから参加してください。

また、本日は追加資料等、紙資料のみ配布しているものもございまして、よろしくお願ひします。

それでは議事に入ります。

①陸上自衛隊V-22オスプレイの訓練に関して説明をお願いします。

菅具基地対策課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） それでは、基地対策課から説明をさせていただきます。失礼ながら着座にてさせていただきます。

陸上自衛隊V-22オスプレイの百里基地での訓練につきましては、7月に訓練説明がされて

以降、地元の百里飛行場周辺整備協議会、周辺住民並びに市議会からも様々なご意見を頂戴しております。

8月下旬に訓練が開始され、地元協議会からの陳情を受けて、今日に至るまでの取り組み経過につきまして、まず、ご報告させていただきます。

資料1をお開きください。

①訓練に関する協定締結に向けた動きといたしまして、これまでの経過について重要な事柄を抜粋して記載しております。

今般の訓練に対しましては、地元協議会から訓練の中止を求める申し入れが提出され、その直後にV-22航空機が百里基地上空に飛来したため、8月31日市及び市議会に対してオスプレイ訓練における協定締結に関する陳情書が提出されました。陳情書を受けまして、9月定例会期中の当特別委員会におきまして付託審議された中で、市執行部の今後の取り組むべき事項として、1つに、訓練に対する懸念事項をまとめ、2つ、暫定配備されている基地への見学により、問題点や理解を抽出しながら、3つ、周辺市町及び訓練先の1つである館山市等と情報交換及び連携するなどで、協定内容を詰めていく考えであることをご説明いたしました。9月22日に市議会本会議にて協議会からの陳情書が採択され、9月30日には地元協議会役員会の中で、長島会長より議会採択されたことが報告されました。担当課ではこの役員会の中で、訓練に係る協定について、協議会及び周辺住民の方々の要望等をお聞きしたかったのですが、役員からは、まずは訓練説明が足りない、計画概要のみで不明点が多く、詳細を明らかにしてほしいとのご意見があり、後日それらについて北関東防衛局へいくつかの質問事項を提出しております。

10月7日北関東防衛局が市役所を訪れ市長、副市長同席の下、質問事項の一部の回答があり、併せて協定締結に向けた協議と意見交換を行っております。その後10月26日午後には島田市長が北関東防衛局を訪問し、防衛局長との直接面接の中で、訓練に際して周辺住民の不安を払拭するよう努力してほしいと訴え、国から住民、市議会に対する説明の実施、訓練飛行日程の事前通知と安全性に関する資料はもとより、地元協議会からの陳情のあった協定締結に向けて協力してほしい旨要請をいたしました。

その直後10月29日ですが、市の執行部都市建設部長と我々担当課が木更津市役所基地対策部署において、木更津駐屯地への暫定配備されるにあたっての周辺自治会、市議会及び地元業漁業組合との対応から配備要請の受け入れに至るまでの経緯説明を受けました。さらには、日常の駐屯地との関わりを情報交換しながら勉強会を実施しております。その取り組み等を

参考といたしまして、今後とも木更津市とは良好な関係を維持しながら互いに基地対策を展開していければと考えております。

かねてよりV-22の訓練にあたり、安全性に関する根拠データの提供要望はもとより、V-22を理解するために暫定配備先の視察について防衛局へ申し入れをしてまいりました。これらの要望のうち駐屯地視察について防衛局の了解と仲介によりまして、実施できるものとなりました。ただし、今回に限り小美玉市がまとめ役となるよう事前指示があり、基地周辺市町や県庁関係部署、地元協議会等を対象とし、各団体の人数を制限することが条件提示され、日程調整を含めた準備を進めながら、11月24日にそれを実現することができました。この視察につきましては、基地周辺5市町連絡会の視察として位置付け、各市町の議会議長、特別委員長をはじめ担当課、県の生活文化課、地元百里整備協役員の合計30名の参加でございました。視察の中で配布された資料等がなく、残念ながら本日はお示しすることができませんが、当日の説明としましては、冒頭委員長からお話もあった駐屯地に配備されているCH-47輸送ヘリ、そしてV-22オスプレイそれぞれの目前で、配備機の能力や任務、厳正な日常点検及び定期点検の実施によりまして、安全確認の徹底においてその対策に万全を期していることへの理解でした。特にV-22航空機に関しては、米軍の高度な教育訓練を習得した操縦士のみが操縦に携わっていること。整備員には、米軍隊員からの指導を受けながらも、自衛隊がもつ緻密で繊細な作業がなされているとのことでありました。

また、その機体機能はコンピューター制御により操縦補助が施されているほか、操縦操作も全てが2系統で連動していることで、万が一の故障等にも対応できるとの説明でした。説明後には、CH-47輸送ヘリ及びV-22航空機の内部に入ることが許され、それぞれのコックピットを覗き込んで比較することができました。わたくしの個人的な感想ですけれども、V-22の操縦席前にはアナログ計器類が少なく、大型のデジタルモニターが配置されるなど、機内装備類からもハイテク化された最新鋭の航空機であることが見てとれました。

これまで北関東防衛局へは、住民説明の実施、V-22の訓練日程や安全の根拠等についての情報提供を求めながら、懸念事項について質問を投げかけてきております。時間はかかりますが、質問の回答も得られており、今回の視察もこちらの要望が叶った1つの成果であると感じております。自衛隊訓練における1つの機種に限定した協定締結というのはあまり前例のない特別な行為であり、容易ではないと承知しておりますが、引き続き防衛局と折衝して、当初に掲げた取り組み目標に向けて1つ1つ進めていくところであります。そのために、今後に取り組む事項といたしまして、これまでに得た情報や地元協議会からの要望を参考に、

協定の骨子を組み立てながら、周辺住民に寄り添ったもののできるかの調整をしてみたいです。なお、百里基地航空機の方が一の事故等に関しましては、既存の協定もありますので、既存協定の必要な修正においてそれを補完することができるかも選択肢として検討してみたいです。併せて申し入れ等の相手を木更津駐屯地に置き換えて、今後の要望書を提出することで、訓練元に対して安全対策に係るアピールとなるような行動もしていきたいと考えております。今後とも、防衛局との折衝を繰り返しながら妥協点を詰めていき、進めていくものでありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。以上です。

○委員長（石井 旭君） 説明が終わりました。これらについて、何かご意見ご要望あればお願いたします。

香取委員。

○2番（香取憲一君） 即直な感想わたしの個人的で申し訳けないのですが、述べさせていただきますと、7月14日に最初の打診がありまして、すぐ17日の新聞報道が先行ということもこの時系列であって、わずか4ヶ月間で9月議会も挟みましたが、木更津駐屯地のオスプレイの実状の視察まで行けたということは、かなり非常に大きな前進だと感想であります。1歩1歩ではありますけども、市長におかれましては10月26日に直接防衛局長と面談をさせていただいていると書いてありまして、4ヶ月で前進というのは、非常に大きなものだと率直な感想でありまして、担当課におかれましては敬意を表するところであります。協定書については、課長のほうからもご説明がありましたように、相手があつてのことですので、この4ヶ月のことをベースにして、1つ1つ丁寧に1歩1歩でも前進できれば、それぞれの地区の皆さんにも100%でないにしても、きっと多くの方にご理解が得られるんじゃないかとわたしはそう思いました。以上です。

○委員長（石井 旭君） ほかにご意見ございませんか。

[「発言する者なし」]

○委員長（石井 旭君） ないようですので、続いて、②米軍再編に係る航空機訓練移転（百里基地）の実施について説明をお願いします。

菅具基地対策課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） 続きまして、資料2. 米軍再編に係る航空機訓練移転（百里基地）の実施についてご説明いたします。

12月1日午後に北関東防衛局から、米軍再編に係る航空機訓練移転、いわゆる日米共同訓練が百里基地において実施されるとの発表がありました。この内容につきましては、即日のうち



に、市議会議員の皆さまへ緊急連絡事項として各タブレットへ情報をお送りしています。同時に地元の百里飛行場周辺整備協議会の役員へお知らせするとともに、小川地区の全区長、住宅管理者に対して回覧周知のお願いをいたしました。既に一部新聞での報道もあり、本日の資料、訓練移転の内容と重複いたしますが、改めて訓練移転の意義としまして、米軍普天間飛行場をはじめとする周辺地域への影響の負担軽減を目的として、自衛隊6基地へ訓練を分散することであり、また、国外グアム島へも移転拡大しながら計画的に実施されているものでございます。

百里基地での訓練移転は平成30年4月以来の約3年半振りとして、今月13日月曜日から5日間で実施されます。参加機種は米軍岩国飛行場所属のFA-18戦闘攻撃機と、百里基地のF-2戦闘機それぞれ8機程度とされています。訓練移転に伴う米軍兵の移動は、過去最も多い170名程度とのことで、大半は百里基地内での宿泊とし、一部には石岡市内のホテル滞在もあるようです。なお、新型コロナウイルス対策をとり、参加人員の全てがワクチン2回接種済者であるとの説明がありました。

これまでの百里基地への訓練移転の実績につきましては、別紙資料をご覧ください。この場での詳細説明は割愛させていただきますが、今回で10回目の実施となります。訓練期間中の防衛局の対応としましては、基地内に対策本部を設置して常駐するとともに、各周辺自治体への情報提供や、騒音測定器の設置、データ収集を行うものとなります。

百里基地側の懸念事項といたしまして、訓練情報を知り得た見物者の集合のほか、基地正門前での団体等の抗議活動、さらには過激な衝突も予想されることから、基地並びに所轄警察の3者においてその対応策を協議しております。基地側は正門手前での取り付け道路を封鎖するというのを決定したようでございます。連携しまして正門前に広がる市の土地、市有地へは車両等が無理に立ち入り人との接触がないよう三角コーンを並べることにより注意喚起するなどの予防策を講じながら、警察へパトロール強化等の協力対応について打合せをしてございます。今後とも担当課としまして、訓練期間中に得る情報等を注視しながら重大事案が生じた際の情報発信と、その対応における関係機関との連携について、事前確認と準備をしていきたいと考えています。

なお、訓練の一部公開としまして、基地視察が12月14日に指定されております。コロナ対策を考慮して最小規模での対応となるため、市執行部及び市議会からそれぞれ代表者の参加ということで調整をしてございます。わたしの説明は以上です。

**○委員長（石井 旭君）** 説明がおわりました。これらについて、何かご意見ご要望あればお願いいたします。

田村委員。

○16番(田村昌男君) これまでにない米軍兵が170名と随分多い数なんですけども、いまでもコロナ感染状況の中で、兵士らはみんな検査してくるのかな。どうなんですか。

○委員長(石井 旭君) 菅具基地対策課長。

○基地対策課長(菅具 隆君) 参加米軍兵及び携わる百里基地人員について全てワクチン2回接種済であるという説明を受けております。当然、訓練期間中の中でもそれぞれの予防対策、体温測定なり、体調管理なりというものが行われるものと思っています。

○委員長(石井 旭君) 田村委員。

○16番(田村昌男君) 行われるものと思うということは、まだ分からないということか。完全にやらないと、あとで大騒ぎになったら大変ですよ。2回接種してるからといってもコロナウイルスは2回接種しても海外でみんなうつっちゃっているわけだよ。それを鵜呑みにして170人も小美玉市は米軍基地ではないと思うんだよ。いままでないよ。いままでだつて多くたつて90人ぐらいなんだから。こういうのはよく言わないとダメだよ。なんでもいう事聞いて要望したとかなんとか言って、このへんよく調査してやらないとダメだよ。

○委員長(石井 旭君) 菅具基地対策課長。

○基地対策課長(菅具 隆君) コロナ感染予防の基本的な対策に対する申し入れも行うものとしております。隊員全員の検査というのは、体調不良によって行われるものがありますので、その前段としてワクチン接種済までは確認しておりますので、そこについても防衛局によく申し入れていきたいと思えます。

○委員長(石井 旭君) 田村委員。

○16番(田村昌男君) よろしくお願ひします。

○委員長(石井 旭君) 長島委員。

○11番(長島幸男君) いま、田村委員がお話ししたこの170名はいつ来るんですか。前日は百里開庁記念式典があるんだよね。12日だっけか。そのときには既に来ているのかな。11日だっけ、そこらへん。それと、以前はこれ見ると平日なんだよな。月曜から金曜までということだね。以前は土日挟んで東京あたりに行った兵隊さんがいるんだよな。今回は平日だから行けないと思うんだけど、近くのコンビニとかそういうところに外出できるのかどうか、ここらへんよく確認してください。

○委員長(石井 旭君) 菅具対策課長。

○基地対策課長(菅具 隆君) まず、北関東防衛局からの現地情報は毎日入ることになって

おりますし、先週金曜日のうちには対策本部も設置したということ、そのあと先遣隊が一部基地のほうに入ったということで、本日情報が入っております。その後、一日何名来るかまでの詳細はいただけませんが、どういう状況で段々入ってくるかということで、情報が入り次第、必要な情報は提供させていただきたいと思っております。

また、大半の者が百里基地での宿泊ということになっております。全然外出できないというわけではありませんが、ある程度制限を受けるはずでございます。近くのコンビニぐらいは行く軍兵もいるかと思いますが、これらについても百里基地に詳細を確認し、必要ならば要望をしていきたいと思っております。

○委員長（石井 旭君） 長島委員。

○11番（長島幸男君） 小美玉市はここずっとコロナの感染者はいないので、ほかから来た方がそういうことで、空気感染ですからコンビニとかどっか寄ってそういう影響で大きく感染したら大変だから、そこらへんよく確認をして、外出しないで欲しいというのが一番わたしが、中で1週間居ていただいて、いま、いったように1週間ではないのか。前に来ている方もいるから長い方は何日かですね。そういうことで十分よく確認してください。以上です。

○委員長（石井 旭君） ほかにご意見ございませんか。

菅具基地対策課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） それでは、関連しまして、最後に資料添付させていただいたものをご覧ください。資料は北関東防衛局長への要請の写しでございます。冒頭に委員長よりお話しもありましたが、つい先日、米軍三沢飛行場所属のF-16戦闘機が周辺住宅地近くへ燃料タンクを投棄した事故について大きく報道されております。これまでも各地で米軍航空機の不具合、部品落下等の事故が後を絶っておりません。今回の百里基地で実施される訓練移転には、米軍岩国飛行場からのF-18戦闘攻撃機の飛来ではありますが、米軍に対しまして機体整備や運用における安全確保への申し入れを国から行うよう、基地周辺5市町連絡会として、北関東防衛局に対し要請書を先日、3日夕方に提出をいたしました。ここにご報告をさせていただきます。

○委員長（石井 旭君） 説明がありますが、何かご意見があればよろしくお願いたします。

[「発言する者なし」]

○委員長（石井 旭君） ないようですので、本日の案件は全て終了しました。副委員長と交代します。



**◎閉会の宣告**

○副委員長（幡谷好文君） それでは、以上で百里基地対策特別委員会のほうを閉会といたします。ご苦労さまでした。

午後 15時30分 閉会